

トータルコミュニケーション支援室

Total Communication Support Initiative



ひとりじゃない私がいる。

私たちのミッションは、トータル・コミュニケーション・サポートです。

トータルコミュニケーション支援室では、次のようなサポートを行うことをミッション(使命)としています。

すべての学生の「社会的コミュニケーションの問題や困難さ」に焦点を当てた支援を「包括的(トータル)」に行います。



- 学生本人からの相談だけでなく、教職員や保護者からの要請も支援の出発点とします。
- 支援に先立ち、人間関係・学習・修学・就職活動上の「問題」や「困難さ」に向き合います。
- サポートチームを個別に形成し、学生本人の同意のもとに支援に必要な情報を共有して、統一感のある支援を行います。
- 「問題」や「困難さ」を整理して、解決や解消のための道筋や、実行に移すための方策を立てます。また、その実行そのものをサポートします。
- 学生を支援している教職員や保護者もサポートの対象とします。

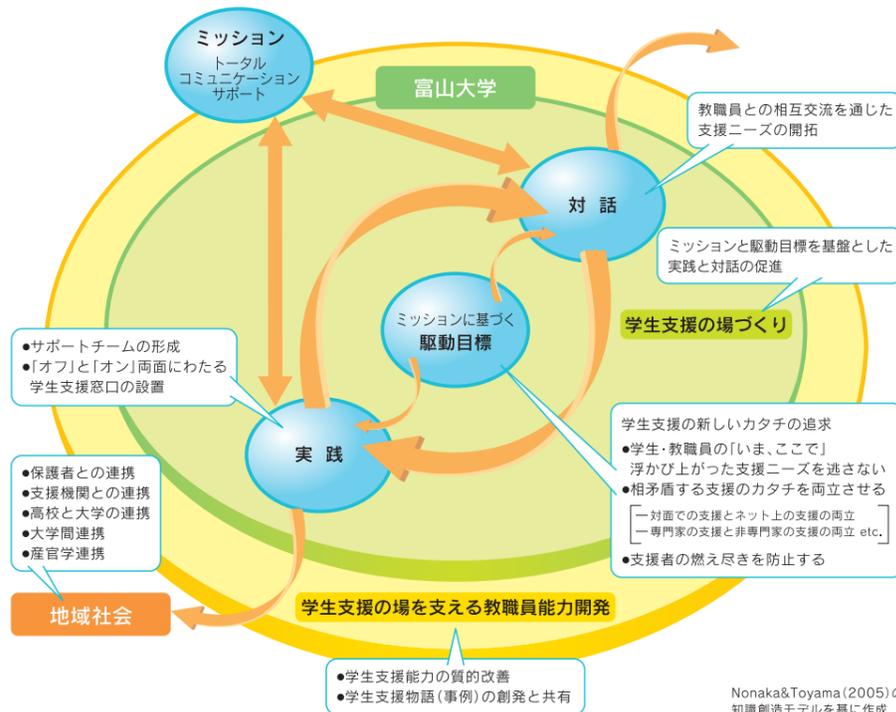
「オフ」と「オン」が調和する学生支援システムを構築します。



「オフ」と「オン」の調和による学生支援

- 対面(オフライン)でのサポートに加えて、ネット(オンライン)上でのサポート(富山大学PSNS:Psycho-Social Networking Service)を提供します。
- キャンパスライフでのより良いコミュニケーションの場を提供し、複数のアクセスチャンネルを保証します。
- 発達障害学生の特性を尊重したサポートを行います。

トータルコミュニケーション支援室の活動モデル



Nonaka&Toyama(2005)の知識創造モデルを基に作成

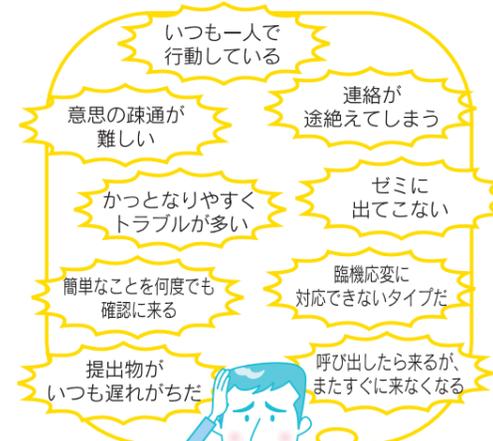
こんな気持ちになったら…トータルコミュニケーション支援室に相談してみよう!

どうしよう? 困った!

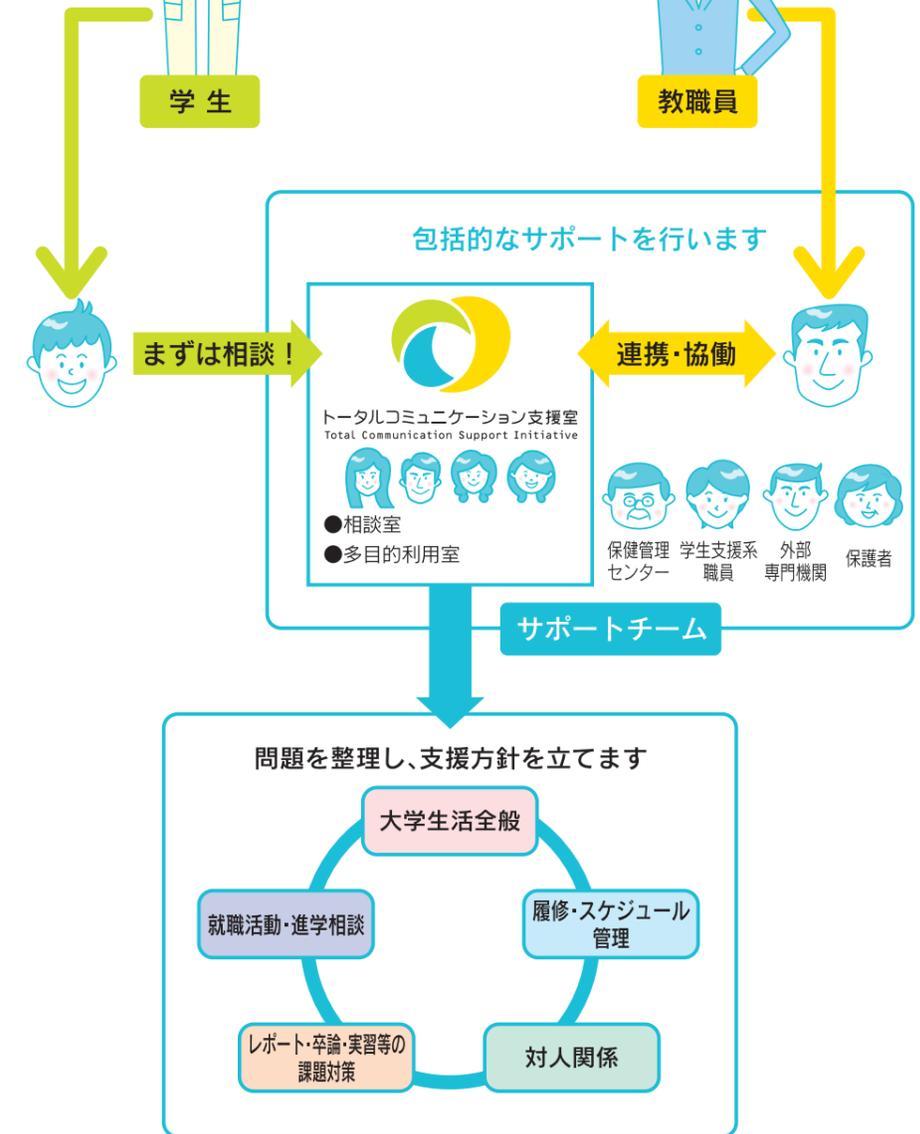


学生

指導の仕方がわからない…



教職員



こんな人たちにも…
トータルコミュニケーション支援室は強い味方。



私の特性・私の個性/

なんだかうまくいかない…。
これはきっと自分の心がけが悪いからだ…。
自分に自信がない…。
何をやっても途中で失敗するのは、
能力がないせいだ…。

あなたは小さいときから、こんなことで困っていませんか？
これらの困難さは、以下のような特性から来るのかもしれない。

高機能自閉症スペクトラム (HFASD) 高機能広汎性発達障害 (HFPDD)



- ★言葉のニュアンスよりも文字通りの解釈に頼ってしまい、他人からすればとんちんかんなことを言うてしまう。
- ★常識が乏しいと言われることが多く、当り前のことでどのように振る舞って良いかわからず融通がきかない。
- ★曖昧なことが苦手で、急な変化にとまどうことが多く、新しい状況に適応するのに時間がかかる。



- ★自分の興味関心のある専門分野については、深く追求できる。
- ★機械的な記憶が必要とされる仕事や数的処理が必要な仕事は完璧にこなす。
- ★ルーチン化された仕事を、飽きることなくやり遂げることができる。

注意欠陥多動性障害 (ADHD)

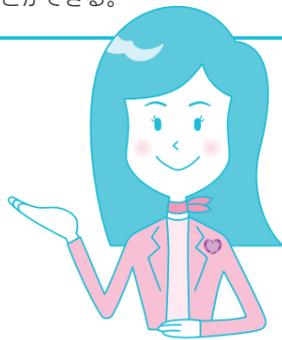


- ★部屋や机の上が片付けられず、必要な時に必要なものが見つからないことが多い。
- ★意識しているのに時間に遅れたり、注意しているのに大事な約束を忘れて信用を失うことがある。
- ★思ったことをすぐに口に出してしまい、人間関係のトラブルを招いてしまう。



- ★初対面の人ともすぐに仲良くなれ、「楽しい人だね」と言われることが多い。
- ★従来の枠にとらわれない自由な発想や誰も思いつかないアイデアがひらめき、すぐに実行に移すことができる。
- ★いったん集中すると、疲れ知らずで取り組むことができる。

自分にはこのようなエピソードがあてはまると
思う人もいるかもしれません。日々の生活の中で著
しい問題がなければいいのですが、一人ではうまく
いかない場合、気軽に支援室を訪ねてきてください。
私たちは、あなたの困難さの陰に隠れているあなたの
良さを見つけ出して、あなたらしく大学生活を送る
ためのお手伝いをします。



トータルコミュニケーション支援室へ
気軽にアクセスしてみよう！

トータルコミュニケーション支援室で行う相談の流れ

1 困ったことがあれば、まずは支援室に連絡してみよう！



富山大学PSNSでメッセージを送信



- ・PSNS管理者のトップページ(ホーム)を開く
- ・メッセージ入力欄に必要事項を入力し送信する
- ・メニューバーの「メッセージを送る」を押す

2 どんなことで困っているか、 支援室の相談員・コーディネーターが話を聞きます。

3 今後の相談・サポートの方法を決めていきます。

相談・サポートの方法には次の2つがあります。

面談 (オフライン) 個別に面談日程を決め、定期的に面談・サポートを行っていく方法です。

富山大学PSNS (オンライン) 富山大学PSNS上での日記・コミュニティ・メッセージのやりとりを通してサポートを行っていく方法です。

4 トータルコミュニケーション支援室でのサポート開始！

トータルコミュニケーション支援室では、
充実した大学生活を送るために次のようなサポートを行います。

- 学生が抱えるそれぞれの困りごとに合わせたサポートを行います **手づくり支援**
- 自己理解を深めるカウンセリングを行います **心理教育的支援**
- 自分自身の特性を生かす方法を一緒に考えます **コーチング**
- 周囲の人たちの悩みや不安に向き合います **支援者へのサポート**
- 自分の良さを生かした就職・進学をサポートを行います **キャリア支援**

私たちが相談に応じます！

トータルコミュニケーション支援室のスタッフ

※名前横の()内の表記は富山大学PSNS上のニックネームです。

普段は五福キャンパスの保健管理センターにいます。内科・心療内科の医師でカウンセリングも行いますが、よろず相談に対応！どうぞお気軽に。

室長
さいとう せいじ
齋藤 清二 (せいじくん)



五福キャンパスの保健管理センターで学生相談を担当。発達障害のある学生の支援も行っています。皆さんの力になれば幸いです。

相談員・コーディネーター
にしむら ゆきみ
西村優紀美 (ゆきみさん)



富山大学PSNS管理人で学生相談も行っています。大学を卒業して銀行で働きましたが、研究者になる夢を断ちがたく、大学に戻ってきました。得意技は就職・進学支援です。

相談員・コーディネーター
よしなが たかし
吉永 崇史 (よっしー)



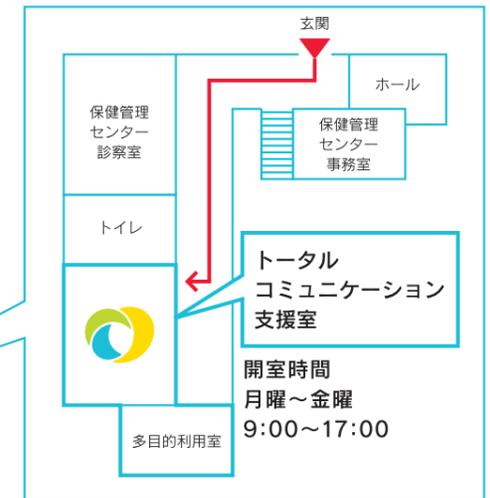
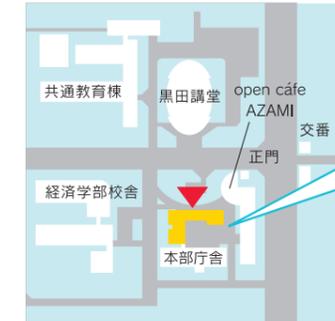
トータルコミュニケーション支援室で事務スタッフとして先生方のお手伝いをしています。富山大学PSNSの管理人でもあります。PSNS上で、皆さんのお役に立てるよう頑張っています。

事務スタッフ
まつたに さとこ
松谷 聡子 (★ひな★)
よねしま ひろみ
米島 博美 (pyon)



トータル コミュニケーション 支援室はこちらです！

●五福キャンパス



●連絡先
富山大学学生支援センター

トータルコミュニケーション支援室
Total Communication Support Initiative

デザインコンセプト

グリーンは「安らぎ」、ブルーは「清らかさ」、イエローは「明るさ」を表わし、学生、教職員、支援室が補充しながら緊密に関わりあうイメージを描いています。メビウスの輪をモチーフに、「オフ」と「オン」の両面にわたって心身ともに安らからで、清らかな、明るい学生生活を送る心(ハート)のつながりを永続的にもたらす、富山大学トータルコミュニケーション支援室の役割をやさしい色調で表現したマークです。

担当者/吉永・松谷・米島
〒930-8555 富山市五福3190
TEL 076-445-6910
E-mail: tcsi@ctg.u-toyama.ac.jp

富山大学 PSNS
<https://shien.adm.u-toyama.ac.jp>

富山大学PSNSへの登録を希望される方は、所属・氏名・富山大学のメールアドレスをメールにてお知らせください。(富山大学PSNSの登録・利用は、富山大学の構成員に限られます。)